



SWIFT ebook

May 2019

# SWIFT gpi : gpiビジネスケ ース立案ガイド

新時代の外国送金

SWIFT gpiの紹介

gpiが採用される3つの大きな理由

- ① 事務処理のコスト削減
- ② コルレス先・委託先との良好な関係の構築
- ③ 顧客への新たな価値提供と市場でのリーダー的地位の確立

gpiによる業務改善点

gpiに関する社内での取組方針確立に向けて

システムに対する gpiの影響

gpiのメリットまとめ

gpi導入のための8つのステップ

# 新時代の外国送金

## 現在の課題

-  未着等のトラブルに対し解決時間が予測不能
-  照会と回答が山積み
-  遅延と顧客の不満足
-  顧客およびコルレス先との関係が緊張

## gpi による改善点

-  迅速な解決
-  未解決なケースの削減
-  コスト削減のチャンス
-  顧客およびコルレス先との関係改善

外国送金を取り巻く環境が大きく変化し、送金取り扱いに関する変革が進んでいます。インフラを含めて新規参入者が急増し、顧客から見た総合的期待値および利用可能なテクノロジーの大きな変革がこれらの変化を推進しており、コルレスネットワークについても大きな変化が起こりつつあります。

顧客の期待する確実性、スピード、追跡機能、手数料の透明化は、送金サービスを提供する側に更なる圧力を与えています。個別行の努力ではもはや対応は不可能です。SWIFT上の全ての銀行が協力して、海外送金で利用される中継銀行全体のネットワークにおいて送金フローを改善する必要に迫られています。

また、銀行は顧客に対して提供する価値を拡大していく必要性があり、最新技術を活用することと、コミュニティの中で協力して対応することで、これまでの課題を克服し、低コストで価値の高い新たなサービス提供が可能になるでしょう。

# SWIFT gpi の紹介

もはや、銀行も企業も外国送金だからといって何日も到着を待たなければならない時代ではなくなりました。

期待されるスピードはますます加速されており、外国送金と言えども、分単位・秒単位の着金が望まれています。

顧客にとって時間は非常に重要です。個人や企業にとって、リアルタイムに近い外国送金が可能になれば、より効率的な資金管理、予算管理、調達、投資が可能になります。

迅速な送金は一連の送金チェーンの全員が希望し、誰もが即時性の高い送金による価値を高く評価しています。

外国取引を実施する企業にとっては、迅速な決済はより早い調達サイクル、過剰な為替相場変動の回避を意味します。

## SWIFT gpi の利点



### 迅速な送金

SWIFT gpiのおよそ40%は5分以内に着金がなされ、50%は30分以内、75%は6時間以内に着金しています。ほぼ全ての送金が24時間以内に決済されています。



### トラッキング

SWIFT上の送金は100% 追跡可能になっています。



手数料と為替レートの透明性が確保されています。



送金情報は改変されずに受益者に伝達されます。



容易な導入が可能です。



コスト削減につながります。



流動性の最適化が図れます。



入金コンファメーションが可能です。



# gpiが採用される3つの大きな理由

外国送金のデジタル化が進む現在、金融機関は常に一步先を行き変革を実施しています。御行にとってどのような対応が必要でしょうか？



## gpiが必要になる3つの大きな理由:

1

事務処理のコスト削減

2

コルレス先・委託先との良好な改善の構築

3

顧客への新たな価値提供と市場でのリーダー的地位の確立

# 1

## 事務処理のコスト削減

「gpiを利用する金融グループからの調査によると、Wells Fargoでは実施した送金に関わる未着照会が39%削減されたことがわかりました。これはgpiを導入した大きな効果と言えます」

Joanne Strobel, Head of Technical Sales for Global Payment Services,  
Wells Fargo

多くの理由から外国送金では手作業を避けることが困難です。依頼人からの変更依頼、キャンセル依頼、誤った情報や不十分な情報、受益者からの未着照会などきりがありません。

これらの手順は非常に手間と時間がかかり、解決するまでに何度も電話や電子メール等でのやり取りを行う必要があります。

### 未着照会に対する調査にどれだけの時間や労力を費やしているのでしょうか？

gpiは、送金の開始から入金までの状況を追跡する機能が備わっています。これにより送金の可視化がリアルタイムで可能になり、送金チェーンのどこにあっても追跡が可能になりました。

Simply:

- 1 gpi トラッカーにログイン
- 2 送金の状況を簡単に把握
- 3 顧客への報告を即時に実施
- 4 ケースの完了



SWIFT のgpiは外国送金事務部門の効率性向上に直接効果があり、照会対応の手続きに対してこれまでにはないほどの迅速化・正確化をもたらします。

## コルレス先・委託先との良好な関係の構築

「gpiを利用する銀行が増えれば増えるほど、より多くの情報の交換が可能となり、銀行サービスの更なる精緻化が可能となり、最終的に市場全体としてより良い外国送金の実現が可能になります」

Maggy Chou, Executive Vice President, E. SUN Commercial Bank, Taiwan

SWIFT gpi はコミュニティが取り組むソリューションとして、全ての銀行が利用することで最大の効果が発揮できます。既に3,500以上の銀行が採用を決定し、450\*行以上がライブ環境でgpi送金を実施しています。

gpiを利用し入金コンファメーションを発信することで、現在のコルレス先・委託先との良好な関係構築に役立ち、新たな業務機会にもつながります。

gpi採用銀行が照会対応をする際は、直接gpiトラッカーを参照してリアルタイムで状況を把握できるので、取引企業に状況の報告を行う際に、他行へ電話、電子メール、ファックス等で問合せをする必要がなく迅速に対応することが可能となります。

gpiトラッカーはその他の情報入手にも有効で、例えば、銀行手数料、依頼人情報、コルレス情報、送金取り扱いの証左等が迅速に把握可能となります。

これらは銀行の業務の効率化だけでなく、中継銀行などの取引相手の作業を円滑にすることも役立ちます。



**送金の停止と資金回収**  
外国送金の追跡機能と透明性により、銀行は必要な際の実施した送金を完全にコントロールすることが可能になりました。どの時点でもgpiトラッカーを参照することで、送金の所在がリアルタイムで把握でき、必要な場合には送金を停止して、資金回収をすることも効率的に可能となりました。より詳細は[こちら](#)をご覧ください。

\* 2019年4月現在の数字

## 顧客への新たな価値提供と市場でのリーダー的地位の確立

「個人および法人取引先に最高レベルの外国送金サービスを提供でき、迅速かつ透明性の高い決済と追跡機能を備えた高度なサービス提供が可能になりました」

Antoine Lawandos, AGM and CIO, BLOM Bank, Lebanon

gpiを利用すれば、迅速かつ追跡可能で透明性の高い外国送金サービスを実現することが可能となり、顧客へのサービス品質が大きく改善されることにより、既存ビジネスをより強固なものにし、かつさらなるビジネス機会の拡大への可能性を高めます。

gpiデータを利用することによって、追跡情報との統合により既存サービスを拡張して業務を簡素化するだけでなく、顧客満足度の向上が図れます。

gpiデータの分析ツールによって、自行および顧客がどのように送金を実施しているか、また他行はどのように送金しているか等を比較分析することが可能になります。その結果潜在的な市場開拓と優先順位付けが効率的に実施可能になります。



### gpiの将来計画

更なる業務効率化や付加価値を追加すべく、gpiでは数々の開発計画が立てられています。より詳細は[こちら](#)をご覧ください

**gpiユーザーは、開発計画に沿って幅広く用意された以下のような関連ソリューションの利用が可能になります。**

- ① 送金キャンセルと資金回収
- ② 送金についての主要情報の事前検証
- ③ 銀行が提供するWebポータルへの追跡機能と送金情報の取り込み
- ④ ケースの解決
- ⑤ 貿易チェーンとの連携により決済機能を提供
- ⑥ 送金実施依頼のサービス化
- ⑦ 被仕向送金の可視化



### gpi関連ビジネスインテリジェンス

SWIFT はビジネスインテリジェンス製品にgpiの利用を促進する機能を追加しました。これにより、gpiの実装から業務開発に至るまでの一連の情報が利用可能になります。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

# gpi が貢献できるビジネス分野

一般にgpiは大規模のトランザクションバンキングサービスを提供する銀行向けと思われがちですが、実際にはあらゆる規模・業務内容の金融機関で日々の外国送金に活用できるサービスです。

幾つかの具体例を見てみましょう。

## 中小規模の金融機関 で農業セクターを中心に送金サービスを提供している場合

### ① データを利用する中小規模の銀行によるサービスの構築

データを活用してキャッシュフロー予測や送金のリアルタイムでの追跡機能を実現し、有料サービスとして提供することが可能になります。gpiデータをオープンバンキングの環境で提供して会計ソフトとの連携を図ることにより更なる付加価値を構築できます。

### ② 取引先へ明瞭・正確な情報をリアルタイムで提供

リアルタイムで送金の進捗を報告し入金確認結果を提供することが可能です。また送金の取り組みから完了までにかかる全ての費用の詳細を提供することが可能になります。

### ③ サプライチェーンの期間短縮

両荷主間の信頼により中小規模企業が関与する国際商流での早期出荷を可能にします。そのために受益者口座への入金確認機能が有効な手段となります。

## プライベートバンクが提供する富裕層向けサービスへの展開

### ① 顧客サービスの積極性を加速

外国送金が滞った場合等、問題についての情報をより早く察知することが可能となり、これらの問題解決のための調査を自主的に進めるなど、これまでのような受動的なサービスからより積極的に対応することが可能となります。

### ② 業務上重要な取引に対してリアルタイムでモニターができる機能を提供する

資金をより迅速に相手に届けることにより、為替・流動性・決済リスクを回避することにつながります。更にリアルタイムで送金の所在と最終入金確認の情報を提供することで更なる信頼を確立します。

### ③ 効率性の向上

gpiにより、人手による送金の照会対応が削減されることにより、対顧及び他部門へのサービス品質向上とSTPの推進が見込めます。

## 個人営業部門でのサービス展開

### ① カスタマーサービスの品質向上

gpiにより、リアルタイムによる送金の状況把握が可能になるため、手数料の透明性と迅速な口座入金が可能になりカスタマーサービスの品質が劇的に向上します。

### ② STPの最適化

gpiにより、外国送金の照会対応の手間が劇的に減少し、対顧及び他部門へのサービス品質向上とSTPの改善が見込めます。

### ③ イノベーションリーダーとしての地位確立

gpiを通じた情報のWeb上での表示やプッシュ型配信を顧客向けに行い、更にはそれら情報を携帯アプリなどデジタルツールに活用することで、より先進的なイメージの確立が可能になります。SWIFT gpiを通じて即時の外国送金サービス、被仕向送金の可視化を推進したり、調達から支払いまでを管理することが可能となります。

# gpiに関する社内での取組方針確立に向けて

「SWIFT gpi を外国送金で利用し、当行はすべての送金に対して迅速かつシームレスなオペレーションの提供が可能になりました」

Francine Hoppe-Krasner, SVP, Head of Financial Institutions,  
Bank Hapoalim, Israel

gpiは、決定権限のあるマネージメントにとっての課題を解決することが可能です

## 経営層向け

- ① gpiはコスト削減と取引顧客及びコルレス関係先との基盤を強固にすることが可能
- ② gpi はイノベーションリーダーとしての地位確立のために効果を持つ

## キャッシュマネジメント部門

- ① gpiにより追跡可能性と透明性が向上し顧客向けサービス品質Upにつながる。
- ② gpiにより流動性に余裕が生まれ、ビジネスの自由度が高まる。
- ③ gpiにより社内向けの新しいサービスや、対顧客向けの新しい製品メニューとして構築することが可能
- ④ gpiの充実した新たな機能拡張計画は更なる価値の提供を可能にする

## IT

- ① gpiはクラウドソリューションとして提供され、他のアプリケーションとの連動・統合が容易。
- ② 最新のテクノロジーであるAPIを利用している。
- ③ 製品化されたベンダー提供のソリューションの利用が可能

## 事務・業務部門

- ① gpiにより従来煩雑で手間がかかっていた調査・照会対応が合理化されることにより生まれた時間的な余裕をより高度な付加価値の高い業務に適用することが可能になり、個々の担当者の仕事の満足度が高まる。

# システムに対する gpi の影響

「SWIFT gpi は、高まる法人顧客からの要求水準への回答であり、従来あったコルレスバンキングの弊害を取り除いてくれた」

Tran Phuong, Senior Executive Vice President, BIDV, Vietnam

SWIFT gpi はクラウドソリューションとして提供され、既存のSWIFTとのインターフェースで利用することが可能です。コミュニティ全体とSWIFTのプロフェッショナルサービス部門エキスパートのサポートにより、銀行によっては3か月で導入が完了した例もあります。

送金の追跡機能はSWIFT gpi 用GUIから簡単に利用することが可能で、さらにAPI による接続で業務アプリケーションとの接続・連動も可能になります。

SWIFTは、gpiの持つメリットを生かしコミュニティへの価値を最大にすることを目指しています。そのため2020年には全ての金融機関が着金コンファメーションをgpiトラッカーに送信することが必須になります。

開発等による変更が必要な主要部分は、銀行の業務システムから着金コンファメーションを発信できるようにすることです。そのためSWIFTは、手動あるいは自動化のための複数の方法を提供します。



## 世界中に広げるために

外国送金の変革のためには個々に対応するのでは実現ができません。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



## ベーシック・トラッカー

外国送金の取扱件数が非常に少ない銀行の場合、無料版のgpiトラッカーが提供される予定です。機能は基本的なものだけに絞られていますが、これにより、手作業で着金コンファメーションを送信することが出来ます。

## 着金のコンファメーションを実施する方法

- 1 MT 199による コンファメーション – 既存のSWIFTインフラを使って自動化したコンファメーションのメッセージをトラッカーに送信する
- 2 API の利用 – 銀行の業務システムのツールにトラッキング情報を組み込みAPIを使って必要な情報を連携する
- 3 ISO 20022の利用 – 現在 ISO 20022に準拠した着金コンファメーションの標準を開発中です。

1

## SWIFT gpiとは？

グローバル規模で、業界全体で外国送金を変革するソリューション

2

## gpi で何が出来るのか？

gpiは迅速かつ透明性の高い外国送金機能を提供します。また送金の状況をリアルタイムで把握できるトラッカー機能を備え効率性の向上、コスト削減、新たな付加価値創造を銀行に提供します。

3

## どのような付加価値がビジネス上で得られるか？

gpiにより業務効率、コスト削減、コルレス先との関係改善と取引先への提供価値の増大をもたらします。

4

## 実装には どの位の期間が必要か？

クラウドソリューションであるgpiは、実装が比較的小規模で可能であり、最短3か月で本番稼働が可能です。

5

## gpiは大手金融機関向け？

gpiはあらゆる規模の金融機関でご利用いただけます。規模や業態に応じて幅広い活用方法が提供されています。

6

## 競合他行でgpiを利用しているのはどこ？

日々gpiに加盟する銀行が増えています。現在3,500銀行が導入済又は導入準備中です。詳細は [swift.com/gpi](https://swift.com/gpi) で確認いただけます。

7

## 今なぜgpiなのか？

金融機関には時間を無駄にする余裕はありません。外国送金の状況は大きく変化しており、出遅れることは大きなリスクにつながります。

8

## gpiは将来にわたり陳腐化しないのか？

gpiは、常に進化している基盤であり、新たなサービスやイノベーションが今後12ヶ月間、さらにその将来にも、次々と準備され進化し続けていく取り組みです。

# ⑧ gpi導入のための8つのステップ



アゼルバイジャンのKapital Bank  
によるgpi実装例については  
[こちら](#)をご覧ください。

1

## 協働で実施するワークショップを通じて問題点と対応策の洗い出し

社内チームによる現状の問題点・課題とgpiを活用することによる業務機会の洗い出し

2

**早期に関係各者への働きかけ**  
行内の意思決定者・関連部門へgpi実装の道筋を示し、IT、法務、マーケティング、業務、経営層など幅広い部門に周知を図る

3

**適切なビジネスケースの確立**  
この資料の記事を参考に、適切なビジネスケースを作り、長期的視野に基づいて、顧客サービスの向上を図る。

4

**実装計画を定め微調整を行う**  
実現可能かつ明確な実装計画を定め、gpiのコミュニティやSWIFTのサポートを活用する。

5

## システム上の準備とスタッフへのトレーニング

技術的な観点および、人的な観点からかけている物を割り出し、円滑な移行のための対応を図る。

6

**テストフェーズ**  
SWIFT環境で入念なテストを実施して、幅広い関係者の協力を得て円滑な商業化に備える。

7

**商業化**  
SWIFT 及び関連するコルレス先と協力してgpiの商業化を実施しサービス提供を開始する。

8

**取引拡大**  
取引先への情報提供を実施して、迅速・追跡可能な外国送金の提供が可能であることへの理解を高める。



### 国際銀行間通信協会 (SWIFT) について

SWIFTはメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。SWIFTは金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、認証、分析、規制コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。

SWIFTは200を超える国と地域における11,000以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。SWIFT自体は資金を保有せず、顧客の口座を管理しないものの、グローバル・コミュニティのユーザーに対し、金融メッセージを確実に交換する方法を提供することで安全なコミュニケーションを可能にします。これにより、国内外の金融取引に加え、世界中の貿易と商取引を支えています。

SWIFTは信頼できるプロバイダーとして卓越した運用を絶えず追求し、コミュニティによるサイバー攻撃への対処をサポートします。またコストを軽減し、リスクを削減し、業務の非効率をなくす方法を常に模索しています。当社の製品およびサービスは、コミュニティ内のアクセスと統合、ビジネス・インテリジェンス、参照データと金融犯罪コンプライアンスのニーズをサポートします。またSWIFTは国際・地域・国内レベルで金融コミュニティを取りまとめ、市場慣行の形成やスタンダードの定義、共通の関心分野に関する議論を推進しています。

SWIFTはベルギーに本社を置き、国際的なガバナンスと監督を通じて、組合体制の中立的かつグローバルな特性を発揮します。また、グローバルなネットワークを通じて、すべての主要な金融センターで積極的に活動を展開しています。

更に詳しい情報は[www.swift.com](http://www.swift.com)をご覧ください

### SWIFT gpi について

SWIFTのグローバル・ペイメント・イノベーション (SWIFT gpi) は、外国送金の過去30年以上の歴史上もっとも大きな革新をもたらす新たな標準です。SWIFT gpiは、そのスピード、透明性、最終段階までの追跡機能によって外国送金に関わる顧客の満足度を飛躍的に改善します。今日、日々数十万件の外交送金がgpiの標準に従って実施され、日々3,000億ドル相当の送金が分単位あるいは秒単位のスピードで処理されています。

企業にとって、SWIFT gpi によって改善された決済サービスには以下の特徴があります。

- より迅速な決済一時差がない地域のgpiメンバー間では同日資金化
- 手数料の透明性
- 最終段階までの追跡
- 送金情報 (Remittance information)を最後まで保持

SWIFT gpiの取り組みでは、外国送金分野における銀行の事務コストを削減しつつイノベーションをもたらすよう、グローバル規模の銀行業界とFintechコミュニティを含めた開発を行いました。2017年1月にスタートして以来、gpiは1,100カ国以上のルートにおける企業向け外国送金について劇的な改善をもたらしています。gpiの主な機能には拡張業務ルールとAPI接続が可能な安全なクラウド式追跡用データベースが含まれています。

SWIFT gpi による送金で企業は国際業務をより活発化し、サプライヤーとの関係強化と財務効率の向上が可能になります。平均してgpi送金の40%は5分以内に着金がなされ、半数は30分以内の着金が可能になっています。同様に75%は6時間以内、ほぼ100%は24時間以内に着金が可能になっています。

3,500を超える金融機関が採用していますが、この数はSWIFTの送金取引全量の85%に相当しています。加えて55を超える世界の資金決済市場インフラがgpi送金を決済しています。これにより、その国の中での決済も追跡が可能になります。外国送金は、多くの場合受取人の居住国に到着した後市場インフラを通じて最終的な決済がされるため、市場インフラの果たす役割は非常に重要となります。

[www.swift.com/gpi](http://www.swift.com/gpi) もご参照ください。